



もっと山県で 子育てを！

山県市は子育て家庭をまるっと応援します！



山県の将来を担う子どもたちが、元気で健やかに育つまごづくりを――

市は、結婚から子どもが大学などを卒業するまで、切れ目のない支援を目指しています。

昨年度の広報やまがたで、隔月で5回にわたって連載した「もっと山県で子育てを」では、子育て支援の施策を紹介してきました。

今回の特集では、ライフステージにあわせて、これまで紹介した施策などをまとめました。

子育てをされていて「困った！」と思ったときなどに、ぜひ活用してください。

※この特集記事は、各施策の概要を紹介するもので、施策によっては要件などがあります。詳しくは、各課に問い合わせください。バックナンバーは市HPでも閲覧できます。



担当に聞きました

昨年度、約1年にわたり、子育て世代の皆さんにぜひ活用してほしい市の子育て支援を紹介させていただきました。

この1年、子育てサービスを利用している親子などに接する中で、「保育料無料化などで子育ての経済負担が減り助かった」「こんなサービスまであるなんてびっくりした」などの声をたくさん聞くようになり、市のさまざまな分野で行っている子育て支援が、徐々に皆さんの中に浸透してきているのを感じました。

今後多くの子育て世代が生活・交流する豊かな「山県市」となるよう事業を進めていきたいと思えます。



「広報やまがた」平成28年7月号から平成29年3月号にかけて隔月連載した「もっと山県で子育てを」

結婚新生活を応援します
(広報7月号p8)

新規に婚姻した世帯に対して、予算の範囲内で住居費と引越し費用の一部を補助します。

・住居費、引越し費用 **24万円まで**
(平成29年度)

閩福祉課 Tel.22-6837



結婚・新婚生活

1

結婚したい人を応援します

結婚相談窓口「山県市マリッジサポートセンター」を開設しているほか、婚活イベントなどを行っています。

閩福祉課 Tel.22-6837

マリッジサポートセンターHP→



2

次ページへ!

出産おめでとうございます!



不妊に悩む夫婦を支援します
(広報11月号p4)

不妊治療に関する検査費、治療費に対する助成を行っています。

▶対象 ・特定不妊治療 ・男性不妊治療
・一般不妊治療 ・不妊検査

閩健康介護課 Tel.22-6839

出産祝金を支給します
(広報7月号p8)

新生児を出産した人に、まちづくり振興券を支給します。

・第1子、第2子の新生児 **10万円分**
・第3子以降の新生児 **20万円分**

閩福祉課 Tel.22-6837

Pick Up! ▶ 子育て支援げんき&子育て支援LINE

たくさんの利用をお待ちしています!



子どもげんきはうすスタッフ

閩子どもげんきはうす
Tel.23-23323

子育て支援LINEに登録を
「子育て支援げんき」の情報をLINEで随時配信しています。
スマートフォンでも簡単に情報を入力できますので、登録してください。

妊産婦、ひとり親家庭、障がいのある子を含めたすべての子どもへの支援や、子育て支援団体の活動、イベント開催情報などを発信していますので、アクセスしてみてください。



「子育て支援げんき」は、市HPの情報分りやすいとまとめた子育て支援Webサイトです。
妊産婦、ひとり親家庭、障がいのある子を含めたすべての子どもへの支援や、子育て支援団体の活動、イベント開催情報などを発信していますので、アクセスしてみてください。

**私立幼稚園や認可外保育施設の
保育料も助成します** (広報9月号p3)

私立幼稚園や認可外保育施設に通い、市内に住民登録がある年少(3歳児)から年長(5歳児)までの園児の保護者に対し、保育料などの助成事業を実施しています。

▶私立幼稚園の保育料助成について

園学校教育課 Tel.22-6844

▶認可外保育施設の保育料助成について

園福祉課 Tel.22-6837

市立保育園の保育料が無料です
(広報9月号p3)

平成27年9月から保育料無料化を実施しており、3歳児(年少)から5歳児(年長)までの保育料が無料となります。

・市内在住の保護者が対象です。

園福祉課 Tel.22-6837



英語あそびで豊かな感性を育みます (広報1月号p11)

市内全保育園の年長(5歳児)、年中(4歳児)のクラスで、簡単な英語を使い、歌、あいさつ、体操、あそびなどを月1回行っています。

園福祉課 Tel.22-6837

**子どもの病気時に
子育て家庭を支えます** (広報3月号p5)

お子さんが病気の回復期や病気中のため、集団生活や家庭での保育が困難な場合に、専用スペースで一時的に保育する「病児・病後児保育事業」を行っています。

園福祉課 Tel.22-6837

**地域で子育ての助け合い
ファミリー・サポート・センター事業**

ファミリー・サポート・センター事業では、子どもを預けたい人に、子育てのお手伝いしたい人を紹介しています。

園高富児童館 Tel.22-4750



歯と口腔の健康づくり (広報1月号p11)

妊娠期から歯科健康診査を行っています。

また市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校で「フッ化物洗口」を実施しており、12歳児一人あたりのむし歯の数は0.1本と県内で最も少なくなっています。

園健康介護課 Tel.22-6839

全小中学校が自校調理・ランチルーム一斉給食
(広報3月号p5)

全小中学校に自校調理場と専用ランチルームを併設しています。

ランチルームに児童生徒全員と職員が集まって作りたての給食を食べられるので、コミュニケーションの場となっているほか、栄養教諭から給食や地産地消の説明を聞くため、食について考える機会にもなっています。

園学校教育課 Tel.22-6844

大学など入学



大学などで教育ローンを利用している人の 利子を補給します (広報3月号p5)

大学などで修学するために必要な教育資金を金融機関などから借り入れた人に、返済する利子の一部を助成しています。
閩学校教育課 Tel22-6844

市内の保育園や小・中学校で アウトリーチ活動を行っています

花咲きホールで公演するアーティストが、市内の保育園や小・中学校に出張して子どもたちと触れあう、「アウトリーチ活動」を行っています。
閩花咲きホール Tel36-2323

6

18歳までの高校生などに医療費を 助成します (広報11月号p4)

0歳から中学生終了までの医療費助成のほか、高校生などの保護者には申請によってまちづくり振興券で医療費を助成しています。
閩市民環境課 Tel22-6827



高校など入学

Pick Up! ▶ 高富児童館が新体制になりました



高富児童館
丹羽 洋子 さん

Q. これからのような児童館にしていきたいですか?
A. 子育てに地域をもっと巻き込んでいきたいです。例えば、子どもたちが企画し、地域の人たちも関わってもらえるような「児童館まつり」を9月に計画しています。子どもや保護者だけでなく、地域の皆さんに開かれた児童館を目指しますので、ぜひ利用してください。

Q. 以前と変わったところは?
A. 児童館事業に加え、以前はおやこYYひろばで行っていた「子育て支援拠点」が児童館の2階に移転しました。2階の幼児遊戯室はスタッフが常駐しているので、気軽に相談や話ができます。スタッフも子育て中の人が多いので、当事者の立場で、一緒に子育てするような関係を目指します。

Q. 以前と変わったところは?
A. 児童館事業に加え、以前はおやこYYひろばで行っていた「子育て支援拠点」が児童館の2階に移転しました。2階の幼児遊戯室はスタッフが常駐しているのので、気軽に相談や話ができます。スタッフも子育て中の人が多いので、当事者の立場で、一緒に子育てするような関係を目指します。

高富児童館は、4月から指定管理制度を導入し新体制になりました。指定管理者であるNPO法人かばさんファミリー代表の、丹羽洋子さんに聞きました。